

1. 「Newの培養法によるウズラ胚の観察」手順

- ①殻割りバサミで卵を開ける ②蒸発皿に出し胚の位置を確認 ③黄身を回転させ胚を上にする



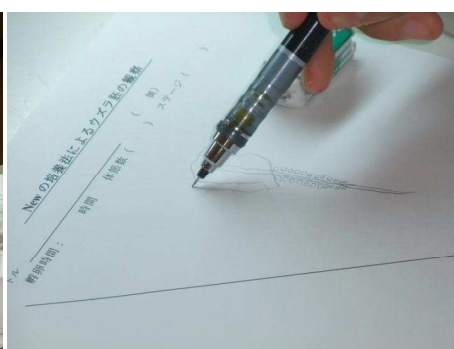
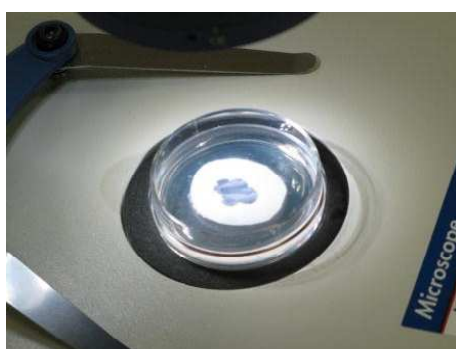
- ④ろ紙リングを置く ⑤リングに沿って卵黄膜を切る ⑥生理食塩水で卵黄を吹き飛ばす



- ⑦胚をつり上げプレートに置く ⑧生理食塩水で卵黄を洗い流す ⑨水分をティッシュで吸い取る



- ⑩ウズラ胚のNew培養 完成！ ⑪双眼実体顕微鏡で観察 ⑫スケッチする



2. 実習風景（研究授業）



新しく買った双眼実体顕微鏡の使い方を聞く



教師による演示はビジュアルプレゼンターで投影



集中しています。真剣な表情です。



先生、胚は取れていますか。



ほら見てっ！ここに！



できたよ、見えてる！ 見せて見せて！



理研CDBの南波先生に教わっています。



校長、教頭、多くの先生方とも対話しながら。

3. 双眼実体顕微鏡で見たウズラ胚（2日胚）～生徒のプレートより～

腹側 脊索や体節、眼胞、心臓の拍動



背側 頭部の回転、レンズの原器、耳胞

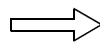


生理食塩水のゲルプレート上で室温（28～30℃）に置き、30時間程度培養すると、発生が進みました。

背側 神経管が閉じつつある



体節が増え、眼胞が形成されている



30
時
間
後